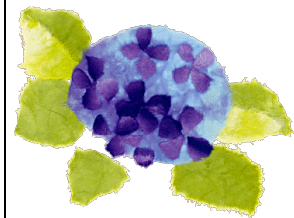


コイノニア



雨の多い季節がやってきます。人間にとって、雨の日は少し不便を感じますが、植物にとっては“恵みの雨”です。美しい花を咲かせて、私たちの心を明るくしてくれる植物のいのちを愛でてみませんか？

6月の聖句は、マタイによる福音書22章39節です。

「第二も、これと同じように重要である。
『隣人を自分のように愛しなさい。』」

隣人を愛する。しかも、自分を愛するように…。と言っても、「自分のこと全部好き」「自分の全てを愛せる」という人は殆どいないのではないのでしょうか？自分の中で気に入らない部分や嫌いな部分、自分のことなのに無視したい部分がきっとあると思います。自分のことでも困っているのに、隣人に心を向ける余裕なんてない、というときもあるかもしれません。

でも、そんなどうしようもない“わたし”を、まず愛してくださるのが神さまです。自分のことを愛せない分、神さまが“わたし”を愛してくださるのです。

どんな人でも隣人を愛することができます。なぜなら、私たちの中には、もうすでに神さまの愛が注がれていて、隣人を愛することは、その神さまの愛を分かち合うことだからです。

6月には「花の日礼拝」を守ります。毎年、生徒や保護者のみなさんからたくさんのお花が献げられます。そのお花を花束にして、本校の福祉科がお世話になっている実習先にお届けします。利用者の方々に花束をプレゼントすると、大変喜んでくださり、中には涙を流して何度もお礼を述べてくださる方もいらっしゃいました。その姿に、訪問した私たちの方がうれしくなって感激するという経験をしました。神さまの恵みの一つである“美しいお花”を分かち合うことが、「隣人を自分のように愛する」ことにつながったのです。

神さまの愛(恵み)は、私たちの中にも、そして自然の中にもたくさん注がれています。気がついてないだけで、私たちの周りにはあふれています。それを探して、見つけて、ぜひ誰かと分かち合ってください。『隣人を自分のように愛しなさい。』という聖句を、学校生活の中で実践してみませんか？

聖書・キリスト教の“はじめの一步”

#03 「プロテスタント」

キリスト教には大きく分けて、4つのグループがあります。「正教会」「ローマ・カトリック教会」「プロテスタント教会」「聖公会」です。本校は「プロテスタント」の学校です。「プロテスタント」はカトリックに対する「抵抗者」という意味ですが、代表的な出来事はルターの宗教改革(1517年)です。そこから考えると、私たちの学校のルーツは16世紀前半までさかのぼることができます。なんと、世界の歴史と私たちの学校生活はつながっているんです！



6月の予定

月間聖句 「第二も、これと同じように重要である。
『隣人を自分のように愛しなさい。』」(マタイ22:39)

月間テーマ 「聖句に生かされる喜び」

10日(水)～ 宗教教育強調週間

15日(月) 本校が教会によって建てられたことを深く理解するために、地域の教会の牧師に礼拝の説教をしていただきます。

12日(金) 花の日礼拝

自然の中にあふれている神の恵みに感謝する礼拝。

JONAN's History #03

「1948年頃の入学式」



この写真は、松山古町教会の教会員・門屋聖さんにお借りしたものです。

前列左から7人目が西村清雄初代校長です。

西村先生と一緒に写っている唯一の写真だということで、大変貴重な一枚を提供してくださいました。

校舎が永木町にあった頃の写真で奥は石手川の土手だそうです。

☆今日の「喜ぶ人と共に」★賞☆

このコーナーでは、学校生活の中で見つけた年間聖句にぴったりのショットを紹介していきたいと思います。

放課後の商業実践室でPCに向かっている2人。実は2人ともClassiのパスワード更新に手間取り、悪戦苦闘していました。担当の先生に助けてもらい無事に終了。1人なら心細かったですが、友だちと一緒にだったので平気でした！これで毎日のWebテストもしっかりできますね！

